



JR六甲道駅前で、北朝鮮拉致被害者の署名活動を行いました

「地元の声」反映する施策を

公園の木も葉を落とし、日増しに寒くなってまいりました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。兵庫県議会議員の新しい任期がスタートし、この6月には総務常任委員会の委員長に選出されました。元町周辺再整備の調査研究のほか、今夏の台風7号による被害状況の確認と復旧復興対策、南あわじ市で発生した豚熱への対応など、県内各地の山積する課題に取り組んでいます。

また、所属団体の県青年局長にも選ばれました。45歳以下の議員らで構成する全国組織の県支部で、若手リーダーとして意見を取りまとめ、地域経済の中核的な担い手となる層の要望を国に申し入れるなど日々奮闘しております。

さて、福島第一原発の処理水を海洋放出したことがきっかけとなり、風評被害による魚の買い控えが懸念されています。県としても水産物の消費拡大を図ろうと、様々な事業を9月の補正予算で盛り込みました。

国の動向に注視し、加古郡の皆さまの声を反映する施策を実現して

ていくため幅広い世代の意見に耳を傾け、各地に足を運んでいく決意です。

補正予算から

自転車用購入補助 最大4千円 ヘルメット



4月から全世代の着用が努力義務となった自転車用ヘルメットについて、1人4千円を上限に購入費を補助する制度を創設しました。65歳以上の高齢者、18歳未満の子どもを持つ子育て世帯、大学生などが対象です(今回限り)。

高齢者や子育て世帯ら対象に 12月から受付開始

同制度では今回の補正予算で、12万個分の7.9億円を計上しました。12月初旬から給付申請が開始されます。

き上げる目標を掲げています。



自転車用ヘルメットの着用率は、警察庁が今年4月に13都道府県で実施した調査によると、最も高いのは熊本県7.8%で、次いで東京都5.6%。本県は1.9%とワーストになりました。ヘルメットの着用率が低迷していることが明らかに

なり、今回の制度導入で6%あたりまで引き上げる目標を掲げています。このほか、9月定例議会で可決した主な補正予算の内容について裏面で紹介しています。

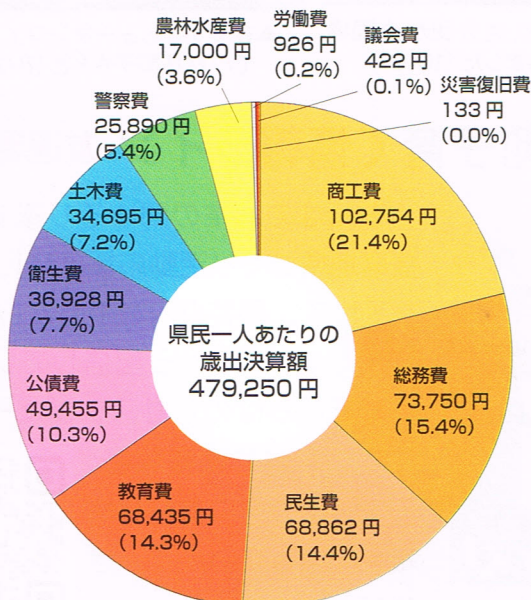
実質収支過去最大の黒字

令和4年度決算 企業業績が回復

令和4年度決算は、企業業績の回復で県税収入が大きく伸び、さらに県政改革を進めた結果、実質収支が平成以降で過去最高の黒字となる60億1200万円に上りました。財政基金残高は目標100億円を今年度

末に達成見込みです。一方、企業庁の地域整備事業は債務残高が令和4年度末で768億円、ひょうご農林機構の分収造林事業の借入金残高は700億円と多額で、早急な抜本的見直しが必要です。専門委員会を設けて

【県民一人あたりの決算額(構成比)】



て収支見直しなどを検証し、将来に積み残さないよう基本的な方向性を定める方針です。

福島県とコラボフェア

水産物の消費増へ

福島第一原発の処理水を海洋放出したことに伴い、魚の買い控えでさらなる魚離れが懸念されることから、県産水産物の消費を促すキャンペーンを実施します。



補正予算から

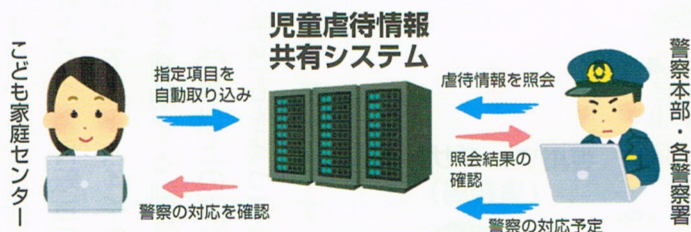
百貨店や大手スーパーでは、調理実演などのイベントを実施して対面販売を強化するほか、福島県と本県の魚を食べ比べて郷土料理を楽しむコラボフェアも11月頃に開催する予定。本県や福島県産水産物の消費拡大を図ります。

児童虐待 迅速に対応

リアルタイムで情報共有

神戸市の6歳児死亡事件を受け、児童虐待に関する情報を県こども家庭センターと県内の全警察署との間でリアルタイムに共有するシステムが令和6年度秋ごろから運用を開始します。関西圏での導入は初めてで、システムの構築に6600万円を計上。これまで月1回程度の更新でしたが、導入後は1時間ごとに最新情報に変わります。過去の通告状況、一時保護歴などの情報に各警察署から直接アクセスでき、現場の迅速な対応につなげます。

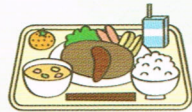
補正予算から



学校食堂の魅力アップ

メニュー開発を応援

原材料費高騰の影響で、学校の食堂経営が困難となり、生徒の食事提供がストップしてしまう事例が発生しています。



補正予算から

県では「学校食堂魅力アップ応援事業」と銘打ち、食堂運営事業者による生徒への魅力的なメニュー開発を応援します。対象は学食を設置する県内すべての高校162校（県立学校106校、私立学校等56校）で、1校あたり最大10万円を助成します。

生徒からのアンケート募集や、家庭科クラブとの協同により魅力あるメニューを試作開発するための材料費、水光熱費、人件費などに充てられます。事業費は1700万円で、学校食堂の売上増による生徒に安定的な食事提供を目指します。

だいこんまつり 12月9日、稲美町で開催



いなみ野特別支援学校の皆さんと一緒に大根を育ててきました

ぜひお越しを！

「ふれあい収穫祭」が12月9日(土)午前、稲美町のいなみ野水辺の里公園周辺農場で開催されます。1本50円で引き抜き体験ができます。この度、農福連携の取り組みの一つとして県立いなみ野特別支援学校の皆さんと大根を育てています。ぜひ皆さんお越しください。

岡つよし県会議員のフォト・レポート



▲播磨町の消防女性分団が全国操法大会に出場しました(10/21)



▲ひょうご・ヒューマンフェスティバルで小林祐梨子さんと(8/26)

稲美町が暴力団「警戒区域」に

組員の活動を制限、より安全なまちへ

兵庫県公安委員会は、特定抗争指定暴力団の山口組と神戸山口組の活動を厳しく制限する「警戒区域」に、稲美町と高砂市を追加しました。警戒区域では、組員が5人以上以上集まったり、事務所を使用したりする行為が禁じられ、違反すれば警察が即座に逮捕できます。

県警は、今回の措置について「暴力団幹部の居宅などを考慮し、生命または身体に重大な危害が加えられることを防止するため」としています。住民の皆さまの安全・安心確保に取り組みため、さらに警戒を強めていく方針です。

県内では、神戸、姫路、尼崎3市が指定されており、今回で警戒区域は4市1町になりました。

岡つよし
にご意見・ご要望を！

岡つよし事務所
〒675-1112
兵庫県加古郡稲美町六分一 770-3
☎ 080-4398-6173
E-mail: info@oka-tsuyoshi.com

稲美町子育て情報ライン 友達募集中

みんなのお茶の間ゆるり家で、「東播磨地域づくり活動応援事業」の補助を受けて、稲美町内を中心とした子育て情報をLINEから配信しています。子育てひろばの活動スケジュールや、行政の子育て情報など、子育て中の方に有益な情報を配信しています。ぜひ登録ください。

